2026年11月4日

各　位

会社名　　：株式会社　木曽路
代表者名　：代表取締役社長　　中川　晃成
（ｺｰﾄﾞ番号 8160　東証プライム・名証プレミア）
問合せ先　：経理部長　　奥野　慎太郎
（TEL.052-872-1811）

# 2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年５月13日に公表いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1.　2027年３月期第２四半期（累計）連結業績予想数値の修正

（2026年４月１日～2026年９月30日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する中間純利益 | １株当たり中間純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円　銭 |
| 前回発表予想（A） | 24,500 | △90 | △75 | △140 | △4.97 |
| 今回修正予想（B） | 24,310 | △410 | △400 | △390 | △13.85 |
| 増減額（B－A） | △190 | △320 | △325 | △250 | ― |
| 増減率（%） | △0.8 | ― | ― | ― | ― |
| （ご参考）前期実績<br>2026年３月期第２四半期 | 24,392 | △93 | △79 | △61 | △2.19 |

2.　修正の理由

売上高につきましては、季節商品や各種販売施策の展開等により需要獲得に努めてまいりましたが、中東情勢の不安定化等を背景とした物価上昇に伴う消費者の節約志向や選別消費の傾向に加え、台風や局地的大雨等の天候不順もあり、厳しい経営環境が続きました。こうしたなか、木曽路業態における６０周年記念イベント等の販売促進活動や客単価の上昇により、既存店売上高は前年同期を上回りました。しかしながら、退店や店舗改装に伴う休業等の影響もあり、売上高は前回発表予想を１億90百万円下回る243億10百万円となる見込みであります。

利益面につきましては、仕入先・調達方法の見直しや適正在庫の維持、廃棄ロスの削減等により原価率の改善が進んだものの、賃金水準の上昇に伴う人件費の増加に加え、店舗修繕費や契約期間満了に伴う退店費用等の販売費及び一般管理費が当初計画を上回る見込みとなりました。この結果、営業損失は４億10百万円、経常損失は４億円、親会社株主に帰属する中間純損失は３億90百万円となる見込みであります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、新規出店計画の進捗や出店時期に流動的な要素があることに加え、原材料価格や人件費等の先行きが不透明である一方、販売促進施策や生産性改善等による収益改善にも取り組んでいることから、現時点では据え置くことといたしました。今後、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

※上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上